

4 まとめ

本章では、2章、3章から得られた現況・課題・対策を取りまとめ、町民、高校生、中学生、出身者が羽幌町の自然環境について感じている共通の問題意識や今後の課題・対策について以下に示した。

「河川・海などの水辺の環境」

- ・ 「旧羽幌川」や「海」の生活排水や農薬、ゴミの不法投棄等による水質汚濁や悪臭、水生生物の減少等の水辺の環境の悪化を解決するために、自然保護対策やゴミ・生活排水への対策、住民意識の改善、ボランティア、不法投棄に対する指導・監視体制の強化等による対策が必要であると考えられている

「良好な景観」

- ・ 「オンコ林」や「山」、「森林」のような良好な自然景観の保全のため、維持管理の徹底と保護対策の実施が考えられている
- ・ サンセットビーチの様な景観スポットや市街地におけるまちなみ景観、「バラ園」、「公園」の様な良好な景観を持つ場所において、景観阻害要因として問題視されている、ゴミのポイ捨てや不法投棄等に対する指導・監視体制の強化や清掃活動により保全を図る必要がある

「ゴミの不法投棄」

- ・ 「河川・海などの水辺の環境」、「良好な景観」に対してゴミの不法投棄が共通して問題視されていることは、近年のゴミ分別回収の実施により、“ゴミ”に対する問題意識が高まっていることが一因と考えられている
- ・ ゴミのポイ捨てや不法投棄に起因する景観の問題を解決するために、PRによる意識の改善や、不法投棄に対する指導・監視体制の強化が必要であると考えられている

「オロロン鳥」

- ・ 報道等により、“絶滅の危機にある”ことが良く知られており、保護の意識が高い
- ・ 「貴重な自然」であり、また、重要な「観光資源」であるため、生息環境の改善や天敵対策により保護を図る必要があると考えられている
- ・ 「観光資源」だから保護していくといった考えから、貴重なオロロン鳥を含めた「自然環境」を守る意識にまで高める必要がある

